

ジャパンインターナショナルボートショー2026 報告書

2026年3月19日(木)から22日(日)までの4日間、パシフィコ横浜展示ホールにおいて「ジャパンインターナショナルボートショー2026」が開催されました。65回目を迎えた今回は、「もっと海が近くなる・・・」をテーマに、最新のボートやヨット、マリン用品の展示をはじめ、各種体験プログラムや「海ゼミ」など、多彩なイベントが実施され多くの来場者で賑わいました。

来場者数:

セーリングビレッジ:19日:225名・20日:689名・21日:1,068名・22日730名

合計:2,712名

ウインドサーフィン:19日:38名・20日:117名・21日:210名・22日:121名

合計:486名

一般社団法人日本ウインドサーフィン協会(JWA)では、2027年5月に和歌山セーリングセンターで開催予定の「ワールドマスターズゲームズ2027 関西」の公式艇種であるウインドサーファー艇の展示を実施いたしました。展示にあたっては、JWA ウインドサーフークラス委員会が準備を行い、日本セーリング連盟(JSAF)の「Sailing Village」ブースにおいて、試乗体験やフォトサービスを実施いたしました。



展示ブースでは、多くの来場者の皆様に実際に艇へ触れていただきました。特に
お子様連れのご家族には、セイルやブームを持って海上を滑走するポーズを体験
していただくなど、ウインドサーフィンを身近に感じていただける貴重な機会となりま
した。背景には海をイメージしたパネルを設置し、親御様による記念撮影も行われ
るなど、会場は終始大変賑わいを見せていました。



また、最終日にはメインステージにてトークショーの機会をいただき、ウインドサー
ファークラス委員長 作野達雄氏、永田朋巳氏、真田和明氏が登壇いたしました。

トークショーでは、ウインドサーフィン誕生から現在に至るまでの歴史や、伝統ある
ウインドサーファー艇が世界的に再評価されている現状について紹介するととも
に、「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」への参加呼びかけを行いました。約
130 名の方々にご聴講いただき、ウインドサーフィンの魅力を広く発信することが
できました。





今回のボートショー参加を通じて、多くの来場者の皆様と交流し、ウィンドサーフィンの魅力や楽しさを直接お伝えできたことは、大変有意義な機会となりました。また、このようなイベントを通じて、ウィンドサーフィンのファン層を広げていく取り組みの重要性を改めて実感いたしました。

最後に、本イベント開催にあたりご支援・ご協力をいただきました JSAF 関係者の皆様をはじめ、多くの皆様に心より御礼申し上げます。

今後もウィンドサーフィンの普及活動、そして「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」の成功に向けて尽力してまいります。引き続き、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ジャパンインターナショナルボートショー 参加レポート

ジャパンインターナショナルボートショー2026 開催に当たり、一般社団法人日本ウインドサーフィン協会からは事務局 1 名、私共ウインドサーファークラス委員会から 3 名が参加させていただきました。

JSAF ブースでは、2027 年 5 月に和歌山セーリングセンターで開催されるワールドマスターズゲームの公式艇種である当委員会のウインドサーファー艇を展示させていただきました。会場を訪れるお客様(特にお子様連れ)には、展示した艇の上でセイル(ブーム)を引いて海上を滑走するポーズを取っていただき、それを親御さんが撮影する(背景も青い海の絵を掲示)といった感じで、大変多くの方にウインドサーファー艇に触れて頂き、身近に感じてもらったと思います。

3 月 22 日にはトークショーのごまを頂きました。ここでは、ウインドサーフィン誕生から現在に至るまでの歴史の紹介、古くからあるウインドサーファー艇が世界的に復活してきていることの話、締めくくりは 2027 年 5 月に和歌山セーリングセンターで開催されるワールドマスターズゲームへのお誘いをさせていただき、大変多くの聴講者(約 130 人)にお伝えできたと思います。

最後になりますが、この度は JSAF 委員をはじめ多くの方々にサポート頂き、ウインドサーファー艇の魅力がお伝えできたこと、誠に感謝いたします。多くの方と接してたくさん学びがありました。引き続き、普及、ワールドマスターズゲームの成功に向けて尽力して参りますのでよろしくお願い致します。

一般社団法人日本ウインドサーフィン協会
ウインドサーファークラス委員会
委員長 作野達雄